

## 新しいパソコンがやってきた！

新しいパソコンを購入したとき、今まで使っていたパソコンと同じ環境を構築するのって面倒ですね。でも、ちょっとした“コツ”を掴めば以外に早く構築できます。今回は新たにパソコンを追加導入したときの環境移行のPointをご紹介します。

### 環境移行の前に済ませておこう！

#### 5分で終わるWindowsの初期設定

プリインストール版のWindowsXPは通常、ライセンス認証はありません。「コンピュータ名」「ユーザーアカウント」の入力程度で完了しますのでサッ！と終わらせておきましょう。また、プロバイダへの入会ソフトなど、使わないソフトがプリインストールされている場合は削除しておきましょう。デスクトップに散らばる要らないショートカットの整理も忘れずに！

#### 最初の一步！ ネットワーク接続

旧マシンをお手本にすればネットワークの設定は簡単！新旧マシン間でデータ、設定ファイルの転送をしますのでネットワークの設定は一番最初に行いましょう。完了したら真っ先にする事は「Windows Update」です。「重要な更新とService Pack」のインストールは必須！！セキュリティを強化しておきましょう。

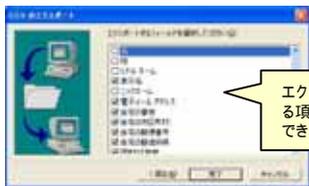
### 瞬間移行！！ “インポート・エクスポート”

#### 環境移行の基本は“コピー”

旧マシンのデータは移行が完了するまで残しておきましょう。インポート・エクスポート機能を積極的に利用すれば作業を効率化できます。

#### アドレス帳をまとめて移行

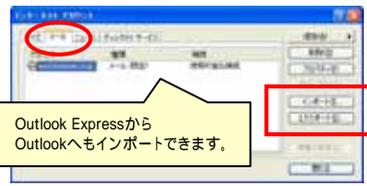
旧マシンのOutlook Expressで「ファイル」「エクスポート」「アドレス帳」を選択、CSV形式でエクスポートします。新マシンではインポート機能を使い、エクスポートされたアドレス帳を取り込みます。インポートでは、「ほかのアドレス帳」を選択しないとCSV形式の選択ができませんので注意して下さい。



エクスポートする項目を選択できます。

#### パスワード、何だったっけ？

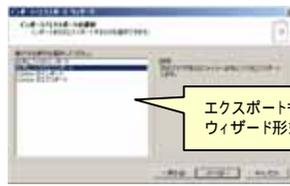
メール設定のため、プロバイダーから貰った設定用紙を探して大騒ぎした事ありませんか？インポート・エクスポート機能を使えばパスワードまで移行できます。「ツール」「アカウント」「メール」タブでアカウントを選択して「エクスポート」。出来上がったiafファイルを新マシンでインポートすれば完了！



Outlook ExpressからOutlookへもインポートできます。

#### お気に入り & Cookieも忘れずに！

IEの「ファイル」「インポートおよびエクスポート」でウィザード画面が現れます。画面に従い、簡単にインポート・エクスポートができます。“お気に入り”のほかに“Cookie”のインポート・エクスポートもできます。エクスポートされた“お気に入り”はhtmファイルだからリンク集にも使えます。

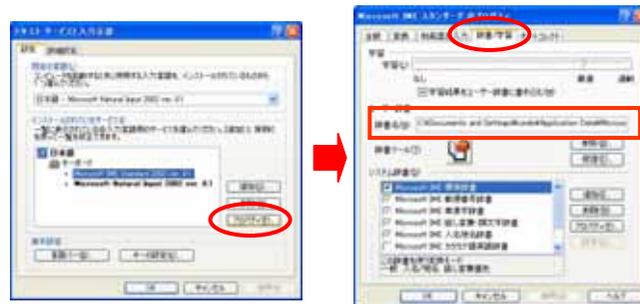


エクスポートもインポートもウィザード形式だから簡単！

エクスポートして出来たファイルは“バックアップ”としても利用できます。圧縮して保存しておくのも良いでしょう。

### 積み重ねた“学習”をムダにするな！

これまで学習した日本語変換の辞書データも忘れずに移行しましょう。IMEバーを右クリック「設定」をクリック。「インストールされているサービスの」プロパティをクリック。開いたウインドウの「辞書/学習」タブ内の辞書名欄に表示されている「imjp81u.dic」ファイルをエクスプローラで探し、コピーして移します。

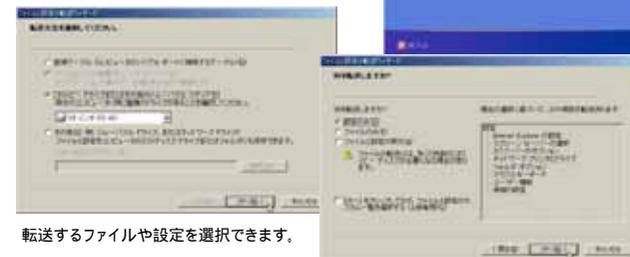


### ファイルと設定の転送ウィザード

実はWindowsXPには「ファイルと設定の転送ウィザード」と言うものがあります。その名の通り、Windowsの設定やマイドキュメントなどを別のマシンに転送する機能です。IEの設定やスクリーンセーバーはもちろんの事、予めソフトをインストールしておけば、ソフトの設定まで転送できます。残念ながら、私は一度も試した事ありませんので、今回は詳しくご説明できませんが、機会があれば試してみたい機能です。

#### ウィザードの起動方法

旧マシンにXPのCD-ROMをセット。「追加タスクを実行する」を選択。「ファイルと設定を転送する」を選択。



転送するファイルや設定を選択できます。

### 開発室から

先日、自宅のパソコンをリカバリCDで購入時の状態に戻しました。データや環境の再構築に、半日かかりましたがちょっとした収穫もありました。プリインストールされていて期限切れになっていたウイルス対策ソフトがまた使えるようになりました。ラッキー！